

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
広島県 安芸高田市	340006	3	平成22年度～ 平成26年度	平成22年度～ 平成26年度
活性化計画の区域				
広島県安芸高田市 甲田町 下甲立地区 138.4ha				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績B	達成率 (%) B/A	備考
定住等の促進に資する 担い手への農地利用集積	51.3%	81.2%	158.2%	18.2ha/11.5ha

(コメント)

事業活用活性化計画における目標値を大きく上回る農地利用集積が図られた。

2 目標の達成のため実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
基盤整備 (区画整理)	区画整理 22.4ha		広島県 安芸高田市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	共用開始日
圃場整備組合	平成22年度	平成26年度	平成27年5月
事業の効果			
○地区法人名：(株)れんげ 経営規模：18.2ha 栽培作物：水稻14.4ha, 白ネギ・アスパラ等3.8ha ○基盤整備事業を行うことにより, 区画の整理, 農作業の道及び用排水路の整理を行い, 農業生産性の向上, 農作業の省力化を図ることができた。			

3 総合評価

(コメント)

策定した下甲立地区活性化計画に基づき基盤整備を実施し、担い手への農地利用集積を図るため株式会社設立を行った。(株)れんげは平成22年11月に設立され、現在18.2haを集積し営農を行っている。本事業を行うにあたり、地区内での営農に対する議論が十分になされた事により、地域の合意形成が図られた結果であると考ええる。

4 第三者の意見

(コメント)

暗渠排水も施工されており、白ネギやアスパラの更なる生産拡大の可能性もある。また野菜の消費地が近いという地の利もあることから、基盤整備を機に地域がまとまり、計画当初に想定されていた農業集落法人から更に進んだ株式会社「れんげ」が設立されており、受益者の営農に対する気運の高まりが伺える。

地域の合意に基づき営農が推進されているなど、今後の更なる農地集積と収益性が高い園芸作物などの生産拡大が期待できる。

「広島県土地改良事業団体連合会 事業計画評価委員会」